

多摩区こども・子育て支援基本方針

～ “たまっ子”を育む地域のネットワーク ～

平成31（2019）年3月

川崎市多摩区役所

はじめに

多摩区には、多摩川や二ヶ領用水、生田緑地など水と緑の豊かな自然環境や、日本民家園、かわさき宙と緑の科学館などの文化施設も多く、子育てをするには大変素晴らしい環境に恵まれております。また、地域には伝統行事もあり、地域で子どもを温かく見守る環境も整っており、区内の保護者を対象としたアンケートでは、約9割の方が、子育てを楽しんでいると感じています。その一方で、7割の方が子育てに不安を持ち、4人に1人は孤立していると感じていることもわかりました。

多様化する子育て環境における課題解決には、子ども・子育てに関わる多くの方々による連携が必要です。そこで、多摩区では、2006年に子育て支援の連携を目的として「多摩区こども総合支援連携会議」が発足しました。会議では、地域で子ども・子育て支援に関わる様々な立場の人々が、目標を共有し、手をつなぎ連携することで、子ども・子育て支援のさらなる効果を地域に広げていくことの重要性が強く認識され、「多摩区こども支援基本方針」が策定されました。このたび「多摩区こども・子育て支援基本方針」と名称を変え改定いたしました。地域で子育て支援に関わる方々の身近な活動の拠り所となり、子どもを安心して育てることのできる故郷づくりのためにご活用いただき、多摩区を「ふるさと」とする「たまっ子」を地域で育むネットワークが広がることを心から願っております。

2019年3月 多摩区役所地域みまもり支援センター